

在日米軍基地の紹介

Introduction of USFJ Installations



東京から約643km離れた青森県三沢市に位置しています。
主に米空軍、米海軍、そして航空自衛隊が、基地を共同で使用しています。

🏠 <http://www.misawa.af.mil>

青森県三沢市に位置する三沢飛行場は、日本で唯一、米軍、航空自衛隊、民間航空会社が共同で使用している飛行場です。管理部隊は、米空軍の第35戦闘航空団です。

三沢では、毎年6月に三沢アメリカンデーが開催され、その日は三沢飛行場のメインゲートが開放され、イベントを楽しむことができます。



米空軍の用語で“Elephant Walk”と呼ばれる、航空機が整列しているところの写真

【アクセス】

電車の場合、最寄り駅は青い森鉄道の三沢駅から徒歩約30分。
車でアクセスする場合、第二みちのく有料道路、三沢駅方面から県道10号(三沢十和田線)を市役所方面に進み、マックスバリュ近くの交差点の一方通行に入り、約900メートルを進んだ左手のスカイプラザの先の左側に米空軍三沢基地メインゲートがあります。



三沢基地メインゲート



「防災週間」のイベント



クリスマスシーズン
第35経理部のエンブレム装飾



東京の西の端に位置し、奥多摩の麓、都心からおおよそ40kmのところであり、「在日米軍」、「第5空軍」、「第374空輸航空団」の司令部が置かれている他、多数の部隊が所在しています。

🏠 <https://www.yokota.af.mil> 📘 <https://ja-jp.facebook.com/yokotaairbase/>

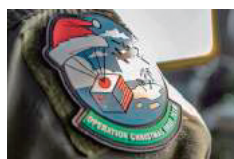
横田基地は、日本に3か所ある米空軍基地の一つです。(他に沖縄県の嘉手納基地、青森県の三沢基地があります。) 現在、横田基地には在日米軍、第5空軍、第374空輸航空団の司令部が置かれている他、西太平洋地域での任務を担う多数の部隊が所在しています。在日米軍司令部は統合軍司令部で、日米同盟の強化や日米防衛関係に影響を及ぼす事柄の調整を行っています。第5空軍司令部はインド・アジア太平洋地域の安定を確保するためにアメリカ合衆国の抑止力政策に貢献し、万が一その抑止が崩れた時には空中作戦を行うための戦術戦闘機の提供と軍事空輸支援を行います。横田基地の管理部隊である第374空輸航空団は、インド・アジア太平洋地域における唯一の空輸航空団として空輸支援を行っています。



友好祭

【アクセス】

最寄り駅はJR青梅線の福生駅、牛浜駅または拝島駅(JR八高線／西武拝島線乗り入れ)。
福生駅から第2ゲートまでは徒歩約15分、牛浜駅から第5ゲートまでは徒歩約10分、拝島駅から第5ゲートまでは徒歩約20分。



クリスマス・ドロップ作戦



在日米軍従業員永年勤続者表彰式



C-130J

Photos by 374 AW/PA



アメリカ第7艦隊に所属する空母ロナルド・レーガンなど
13隻の艦船が配備されている米国外最大の海軍施設です。

🏠 https://www.cnmc.navy.mil/regions/cnrj/installations/cfa_yokosuka.html ● https://twitter.com/fleact_yokosuka

米海軍横須賀基地は、約80以上の陸上部隊が、アメリカ第7艦隊の艦船、軍人、家族を支援するという当基地の使命を担っています。艦船修理・物資補給などの軍事的支援だけでなく、家族が日本での暮らしをより快適に送れるよう教育・医療・商業・家族支援等の部隊において、多岐にわたる生活支援をしています。

第7艦隊はハワイからインド洋までを担当区域としており、人道支援、弾道ミサイル防衛など日本だけでなく、西太平洋一帯の地域の安定に貢献しています。また当基地には明治から昭和にかけて建造されたドライドックなど、貴重な近代化遺産が残されています。



フードコートのメインストリート



フレンドシップデー



横須賀基地司令官の建物

【アクセス】 京浜急行横須賀中央駅から徒歩15分
又は「横須賀中央・三笠循環バス」で4分



神奈川県座間市と相模原市にまたがり、在日米陸軍司令部、
在日米軍陸軍基地管理本部などが所在し、在日米陸軍の中枢です。

🏠 <https://www.usarj.army.mil/> 📘 <https://www.facebook.com/USARJ> ● https://twitter.com/USARJ_PA0

神奈川県座間市と相模原市にまたがるキャンプ座間は、在日米軍陸軍司令部が置かれる在日米陸軍の本拠地です。面積は、約230万㎡、管理部隊は在日米軍陸軍基地管理本部です。陸上自衛隊も敷地内の一部に駐屯しています。
キャンプ座間では、毎年春には桜まつり、夏には盆踊り、秋には音楽祭などのイベントを開催しており、その日はゲートが開放され、イベントを楽しむことができます。



桜まつり



盆踊り大会



オクトーバーフェストでは、本場ドイツのビールと料理、ダンスなどが楽しめます。



【アクセス】

最寄り駅は小田急小田原線の相武台前駅。
相武台前駅から第1ゲートまでは徒歩約15分、
相武台前駅から第4ゲートまでは徒歩約10分。

在日米軍基地の紹介

Introduction of USFJ Installations



神奈川県綾瀬市と大和市に位置し、面積約500万㎡、滑走路約2.4kmを有し在日米海軍運用の重要な任務を担っています。

🏠 https://www.cnmc.navy.mil/regions/cnrj/installations/naf_atsugi.html 📺 <https://www.facebook.com/naf.atsugi>

米海軍厚木航空施設は本州のほぼ中央、神奈川県綾瀬市と大和市に位置し面積は約500万㎡、約2.4kmの滑走路1本を有し海上自衛隊と共同運用されています。1938年、旧帝国海軍の基地として建設され終戦時の1945年、マッカーサー元帥が到着し米軍に接收されました。1972年、横須賀に空母ミッドウェイが配備され基地は空母艦載機を支援する基地となりました。

年月を経て基地は現在原子力空母ロナルド・レーガンに所属する第5空母航空団、その他30を超える駐留部隊の支援、西太平洋地域の兵站支援の一端を担っています。米海軍関係者、現地雇用従業員、海上自衛隊関係者約10,000人が施設内外に居住、基地の運用に携わっています。

【アクセス】 相鉄線さがみ駅南口から徒歩20分、
又は相鉄線相模大塚駅から相鉄バス（飛行場正門前）下車



SH-60B Seahawk（シーホーク）



旧帝国海軍の武道場だった建物は、内部を改装し、現在教会として使用されています。



厚木航空施設のエンブレム



NAF厚木の茶会



基地内の仕事や日米交流イベントを通し、日米の文化的差異を直接体感することができます。

🏠 <https://www.mcasiwakunijp.marines.mil/> 📺 <https://www.facebook.com/mcasiwakunijp/>

米海兵隊岩国航空基地では、基地従業員が米海兵隊員と日々の仕事において直接関わり、基地の運用に関係する仕事から、日本政府や地元行政との調整に至るまで、民間にはない仕事に携わる機会が多くありとても刺激的です。また日米交流イベントも多くあり、米海兵隊、米海軍、海上自衛隊の様々な航空機をご覧頂ける5月5日のフレンドシップデーには毎年多くの来場者がいらっしや、本場のハンバーガーやピザを味わいながら、航空機の展示や航空ショーを堪能されています。

市民も共同で可以使用することができるギズナスタジアムでは、これまで日米絆リレーマラソンなど参加型のイベントも多く開催されるなどし、好評を頂いています。こうした交流の中で日米の文化的差異を、仕事やイベントを通し直接体感できることが岩国基地で働く上で大きな魅力の一つです。

【アクセス】 JR山陽本線岩国駅から、いわくにバス（基地前）下車、徒歩5分



日米交流合同コンサート



日米ソフトボール大会



海兵隊員が鞍掛城まつりに参加



沖縄には海兵隊基地が点在しています。その中でもキャンプフォスター（瑞慶覧）は人口が最も多く、兵隊、その家族などが約9,000人おり、日本人従業員は約1,600人が勤務しています。

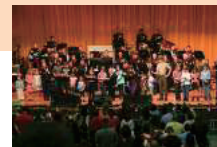
📺 <https://ja-jp.facebook.com/CampFoster/>

キャンプ・フォスター（瑞慶覧）は沖縄本島中部に位置するアメリカ海兵隊の駐屯地で、沖縄市、宜野湾市、北谷町（ちゃたんちょう）、北中城村（きたなかぐすくそん）の四市町村にまたがって所在しています。キャンプ・レスター（桑江）の住宅地区とプラザハウジングが隣接しています。これらの基地は5,000人以上の人員を収容する約20の兵舎、約1,950棟の住宅ユニットを擁しています。キャンプ・フォスターは3つの主要な司令部ー第1海兵航空団、在日米海兵隊基地（キャンプ・パトラー）、米海兵隊太平洋基地があります。また、約28,000人の軍人及びその家族に医療を提供する米海軍病院があります。在沖海兵隊コミュニティサービス本部（MCCS）もまたキャンプ・フォスターにあり、MCCSは沖縄の軍人・軍属及びその家族に質の高い生活を提供することに努めています。

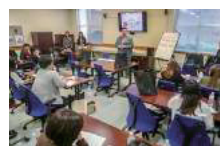
【アクセス】 那覇方面から車でアクセスする場合、国道58号線を北上、「北谷町北前」信号の手前、右側にキャンプ・フォスター北前ゲート（第5ゲート）があります。



コミックコンテスト



ホリデーコンサート



大学の学生たちとの交流



日米親善青少年バスケットボール大会

施設技術部隊(NAVFAC)に勤務する在日米軍従業員



米海軍基地は一つの街であり、滑走路、格納庫、港湾など軍の運用関連施設だけでなく、家族住宅、病院などの生活基盤施設、防火施設などの安全対策施設、ごみ処理施設などの環境関連施設というように多様な施設により構成されています。このため、米海軍基地においては、これらの施設を適切に運営する上での様々な業務を施設技術部隊(NAVFAC)が一手に担っています。

日本国内に展開するNAVFACには多数の在日米軍従業員が勤務しており、米軍スタッフとの緊密なチームワークのもと、施設運営に係る様々なプロジェクトの企画、調査、設計から、新設及び改修といった施工、そして維持管理といった幅広い業務に取り組んでいます。また、その職種も、建築、土木などの工学から、予算、法律、情報処理など多岐にわたっています。

このように、様々な職種の在日米軍従業員が米海軍基地の街の安全と安心を守り、軍人及びその家族の生活を支えています。

